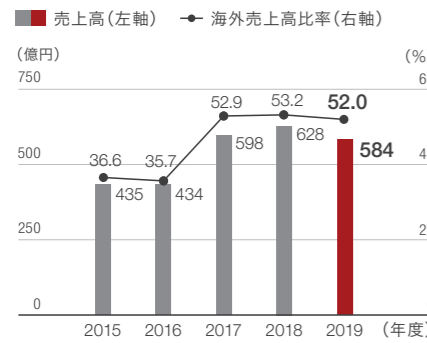


財務データ・非財務データ

財務データ 連結

売上高

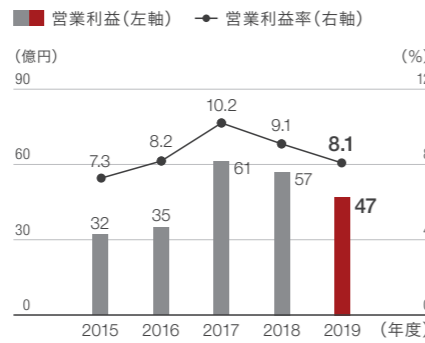
584億円 | 前年度比 -7.0%



米中貿易摩擦の影響などにより、国内外で各種製品群の売上が減少しました。また円高の影響もあったことから、海外売上高比率は52.0%となり、前年度比で減少しました。

営業利益

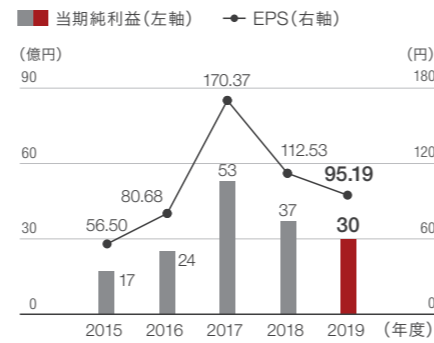
47億円 | 前年度比 -17.9%



生産拠点の再編や不採算製品の見直しなどにより収益性の向上を図ったものの、スイッチをはじめとする主力製品群の売上が減少したことなどから、営業利益率は8.1%となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

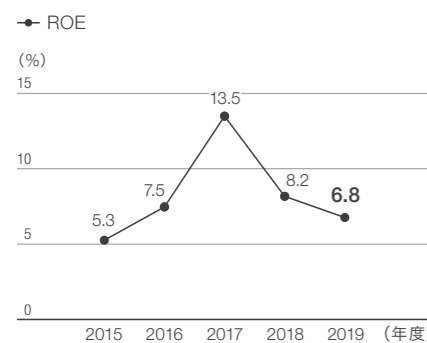
30億円 | 前年度比 -18.8%



投資有価証券売却益を計上したものの、アジア・パシフィックにおいて、子会社再編損や事業所移転損失が発生しました。その結果、当期純利益は前年度比で減少しました。

ROE

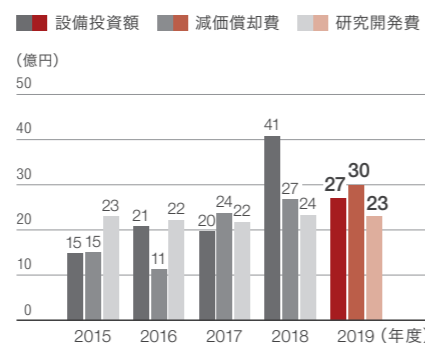
6.8% | 前年度比 -1.4pt



厳しい事業環境の影響により当期純利益が減少したことなどから、ROEは6.8%と前年度比で減少しました。

設備投資額

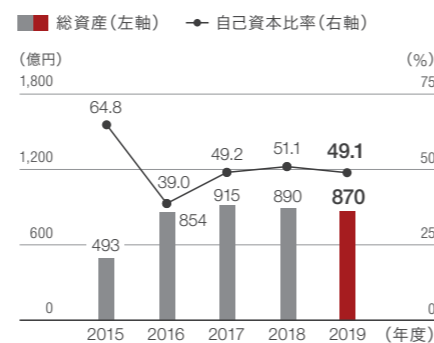
27億円 | 前年度比 -35.2%



2018年度の設備投資額は、生産拠点の再編を国内外で実施したことから増加しましたが、2019年度は減少しました。

自己資本比率

49.1% | 前年度比 -2.0pt

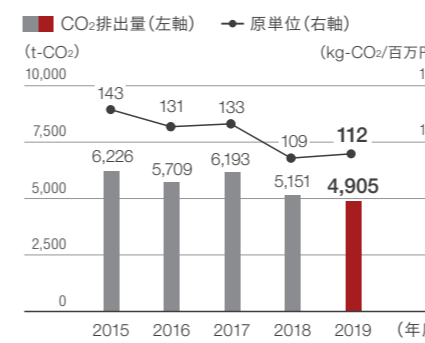


APEM社を買収した2016年度に自己資本比率が40%を下回ったものの、その後は50%前後で推移しています。

非財務データ IDEC単体

CO<sub>2</sub>排出量

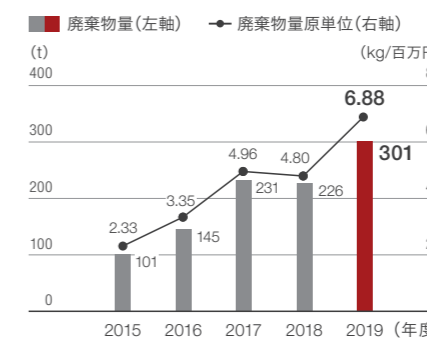
4,905t-CO<sub>2</sub> | 前年度比 -246t-CO<sub>2</sub>



クールビズの実施や、階段利用の推奨、照明光源のLEDへの切り替え、不要時の照明消灯の啓発など社内での節電に努める一方、関西圏に4か所の太陽光発電所を設け自然エネルギーの活用を進めています。

廃棄物量

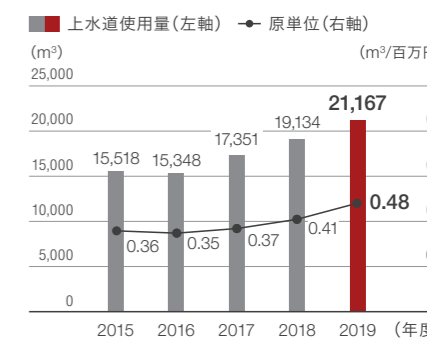
301t | 前年度比 +74t



廃棄量をより少なく製品生産ができる金型に改良しているほか、不良率を低減することにより材料の廃棄ロスを減らすよう取り組んでいます。一方で、中国の廃棄物輸入規制にともない、廃棄物の全体量が増加しました。

上水道使用量

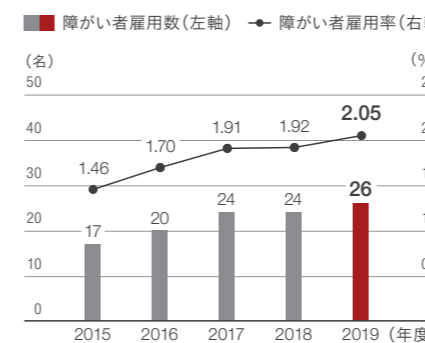
21,167m<sup>3</sup> | 前年度比 +2,033m<sup>3</sup>



本社にて雨水を貯蔵し、中庭や屋上庭園の植栽への散水に利用するなど節水に取り組んでいます。一方、2019年度に木場事業所およびアSEMBルセンターを開設したため、全体での利用量は増加しました。

障がい者雇用数・率

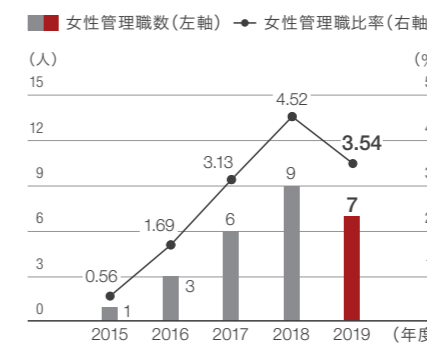
2.05% | 前年度比 +0.13%



障がい者向けの職場見学会を開催し、社内見学や会社説明を行っています。職場適応・就労定着に向け、障がい者の配属部署の社員向けに受入れ研修を実施しているほか、ジョブコーチ支援事業を利用しています。

女性管理職数・比率

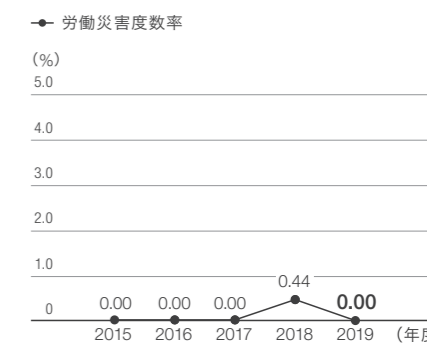
3.54% | 前年度比 -0.98%



女性活躍推進に関する行動計画を策定し、次世代幹部候補として女性を積極的に選抜し、育成プログラムを実施しています。2022年度までに女性管理職比率10%の達成を目指しています。

労働災害度数率

0.00% | 前年度比 -0.44%



生産拠点の社員による労働安全衛生環境の「気付き報告」を実施し、現場の意見を吸い上げて対応しています。外国人技能実習生向けに、緊急避難指示や安全方針・安全マニュアル等を母国語で掲示しています。